

# 道路事業

## 一般県道佐野太田線 むらかみ 村上工区 (平成21年3月供用)

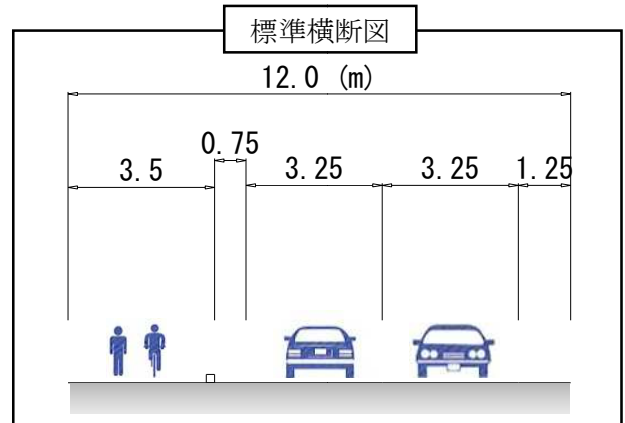
### 1 事業概要

一般県道佐野太田線は、佐野市西部を起点に群馬県太田市を結ぶ幹線道路です。特に、本計画区域においては、佐野市と足利市を結ぶ道路として地域の産業経済活動を支える重要な役割を担うとともに、地域住民にとっても日常生活に欠くことのできない主要な道路となっています。

村上工区は、佐野市村上町から足利市奥戸町までの1,620m区間において、バイパス整備を行うものです。



- ◆事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆事業箇所：一般県道佐野太田線 村上工区  
(佐野市村上町～足利市奥戸町)
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：1,620m
- ◆幅員：12.0m  
(車道6.5m、歩道3.5m片側)
- ◆総事業費：約22億円
- ◆事業期間：平成14年度～平成20年度
- ◆主要構造物：村上大橋 L=133m



## 2 事業の目的・必要性

足利市と佐野市を結ぶ東西軸は、国道 50 号と県道桐生岩舟線の 2 路線であり、佐野市街地において慢性的な渋滞が発生し、佐野プレミアムアウトレット開業などの佐野新都心の開発による更なる交通量の増大が見込まれ、佐野市の都市活動の弊害となっていました。

このため、栃木県では佐野市と足利市を結ぶ新たな東西軸を整備し、「佐野市・足利市間の交流の促進」「生活環境の改善」「歩行者・自転車利用者の安全確保」を目的に、平成 14 年度よりバイパス整備に着手し、平成 21 年 3 月に全線区間を供用しました。

## 3 事業の整備効果等

### <費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

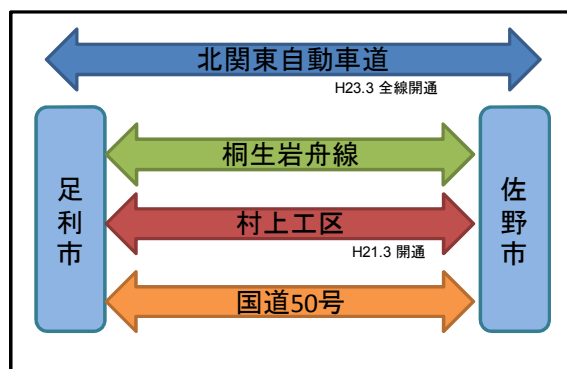
- ・事業費 着手前 約 19 億円 → 完成時 約 22 億円  
事業費増加の理由：当初想定時よりも地盤が軟弱であったため、橋台杭長を延長するなどの対策が必要となったため。
- ・事業期間 着手前 平成 14 年度～平成 19 年度 → 完成時 平成 14 年度～平成 20 年度  
事業期間延伸の理由：用地取得の遅延

### <整備効果>

本事業におけるバイパス整備によって、課題であった現道の交通の転換が図られました。

#### 【交通ネットワークの多重化】

村上工区の開通により、佐野市と足利市を結ぶ東西幹線軸が増加し、交通ネットワークの多重化が図られました。



#### 【自動車交通量】

整備前 (H17 道路交通センサス)		整備後 (H22 センサス、H23・H24 実測)
(主) 桐生岩舟線	9,930 台/12 時間	(主) 桐生岩舟線 8,763 台/12 時間
(国) 50 号	38,672 台/12 時間	村上工区 8,407 台/12 時間
総交通量	48,602 台/12 時間	(国) 50 号 34,313 台/12 時間
		総交通量 51,483 台/12 時間

- 交通ネットワークの多重化により、足利市街地と佐野新都心のアクセス強化が図られました。
  - 「佐野市・足利市間の交流の促進」が図られました。
  - 生活道路への通過交通の流入抑止が図られ、「生活環境の改善」が図られました。

## 【状況写真】

バイパスの整備と併せて幅員 W=3.5m の歩行者自転車道の整備をしたことより、歩行者や自転車利用の利便性や安全性が確保されました。



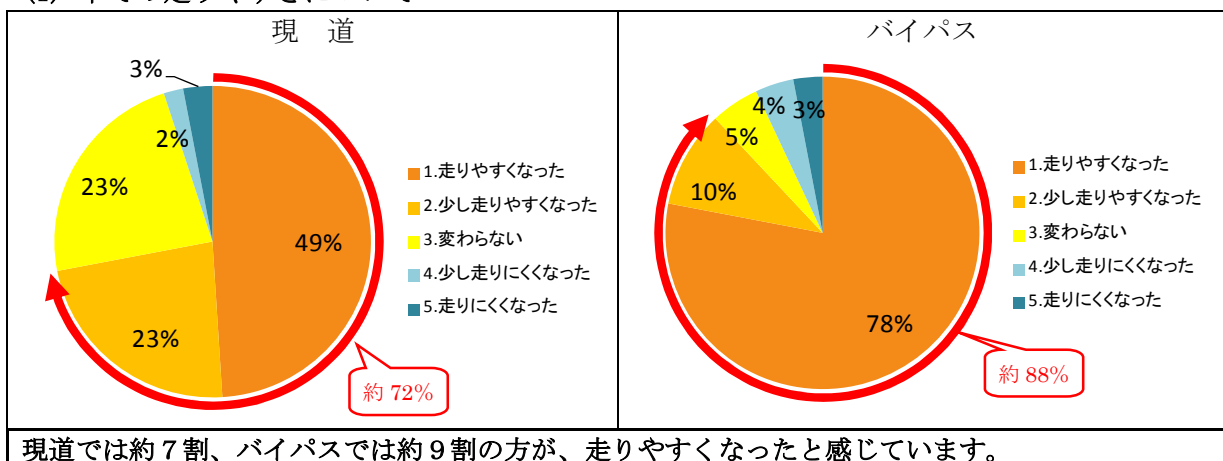
●歩道が整備され、バイパスを利用する「歩行者・自転車利用者の安全が確保」されました。

## 4 地元の声

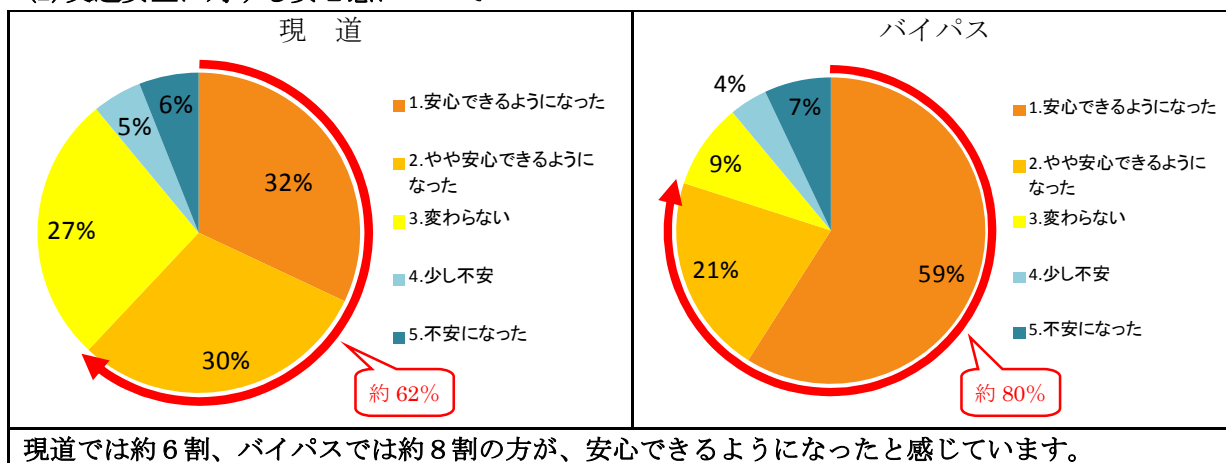
一般県道佐野太田線村上工区の整備により、生活や環境などにどのような変化があったかを確認するために地域住民や企業、学校などにアンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数：137/300件 回答率 46% ※有効回答数は設問により異なります。)

### (1) 車での走りやすさについて

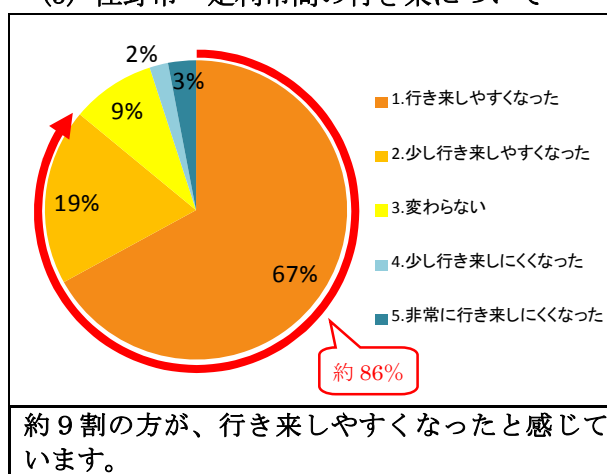


## (2) 交通安全に対する安心感について



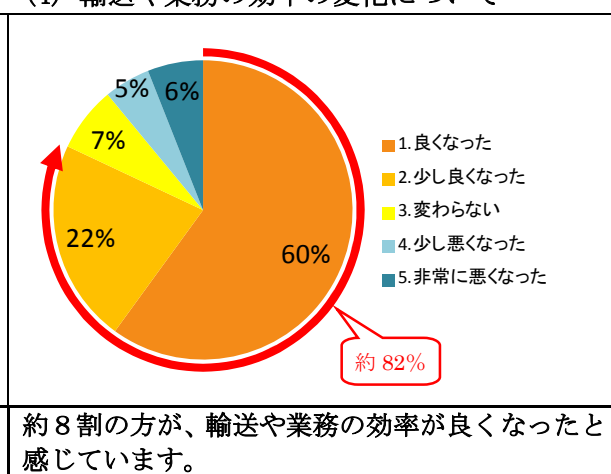
現道では約 6 割、バイパスでは約 8 割の方が、安心できるようになったと感じています。

## (3) 佐野市～足利市間の行き来について



約 9 割の方が、行き来しやすくなったと感じています。

## (4) 輸送や業務の効率の変化について



約 8 割の方が、輸送や業務の効率が良くなったと感じています。

## (3) 自由意見

- ・町内の交通が村上工区に移行したことによって、町内の住環境が非常に良くなった。  
(60 歳以上 男性)
- ・佐野方面から、足利日赤病院に行くことが特に便利になりました。  
(50 歳代 女性)
- ・佐野～足利・太田への町内通り抜け車両が少なくなり、交通安全、騒音面で大変よくなった。  
(60 歳以上 男性)
- ・村上工区と国道 50 号を結ぶ農道の交通が多く、事故が多発しているのが現状であるので、信号の設置を考えてもらいたい。  
(60 歳以上 男性)
- ・バイパスとの境には、雑草がかなり多く農道にたおれてくるため、農機等通行する時あぶないと思う。  
(60 歳以上 男性)
- ・時期によっては、交通量が増加し、渋滞が起こることがある。またスピードを出す自動車が多いので危ない気がする。  
(40 歳代 男性)

## 5 事業による環境変化

特になし

## 6 事業を巡る社会経済情勢の変化

- ・平成 15 年 3 月 佐野新都心、佐野プレミアムアウトレット開業
- ・平成 15 年 3 月 佐野新都心、イオン佐野新都市ショッピングセンター開業
- ・平成 23 年 3 月 北関東自動車道、全線供用開始

## 7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

交通量調査やアンケート調査結果により、事業の目的である「佐野市・足利市間の交流の促進」「生活環境の改善」「歩行者・自転車利用者の安全確保」は図られています。このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

## 8 同種事業への反映

本事業については、十分な効果を確認することができたとともに、アンケート調査では、更なる利便性向上の要望等、幅広い視点から多くの貴重なご意見等を頂きました。今後、バイパス事業の計画策定や工事の実施、供用後の維持管理等に役立てて参ります。

栃木県では、今後も県民の皆様のご意見をお聞きしながら、より良い道路行政の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2411    F A X : 028-623-2417  
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>  
E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

